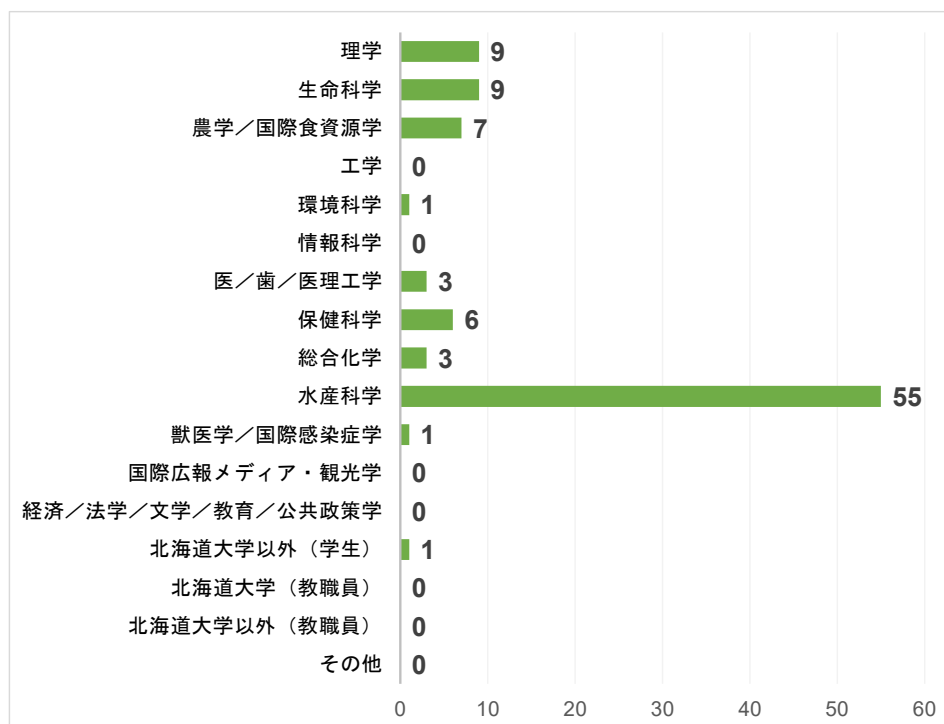


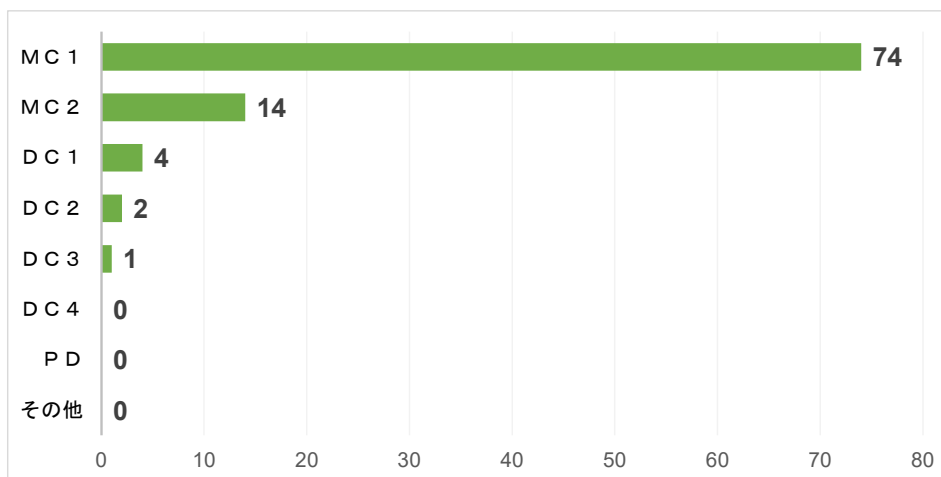
2025度 Advanced COSA (1) アンケート

回答者数:95名(参加数:131名)

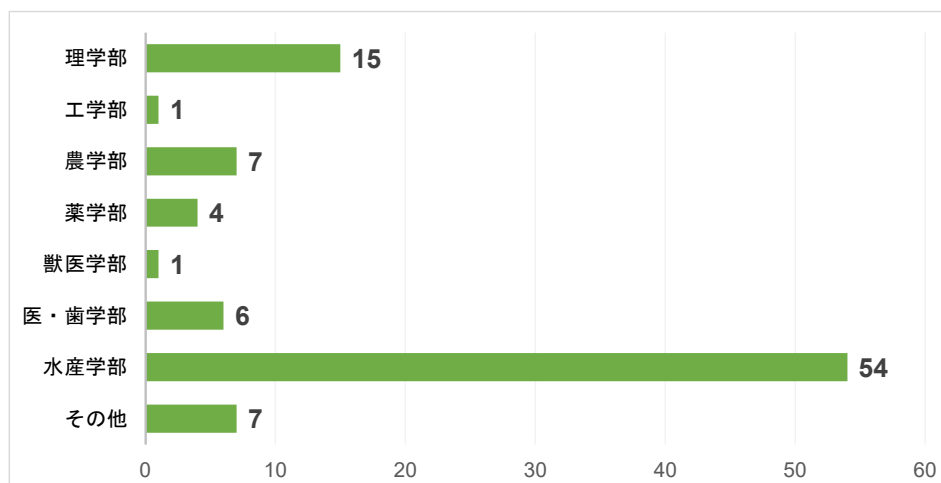
[1] あなたの所属を教えてください。



[2] あなたの学年を教えてください。

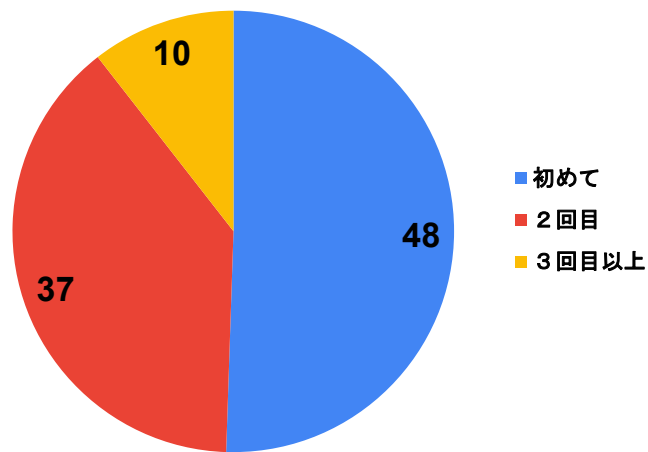


[3] あなたの出身学部を教えてください

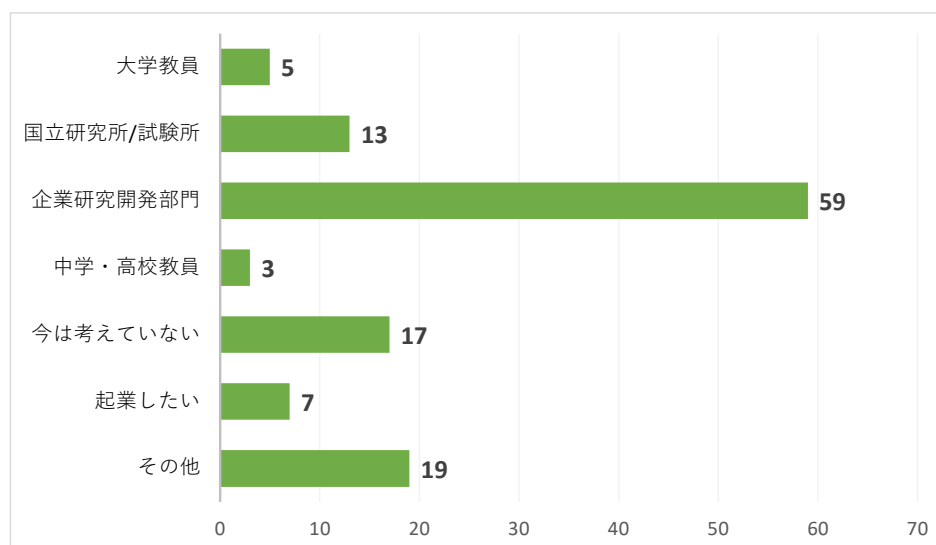


その他:教育学部、海外、経営学部、理工学研究科、文学部、他大学(文理学部)

[4] 先端人材育成センター主催のセミナー等受講は初めてですか？



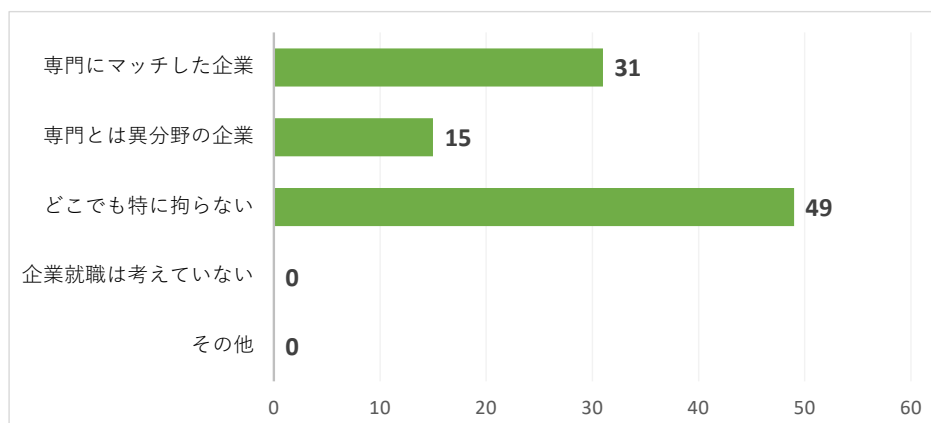
[5] どのような分野への就職を希望しますか？（複数回答可）



その他：

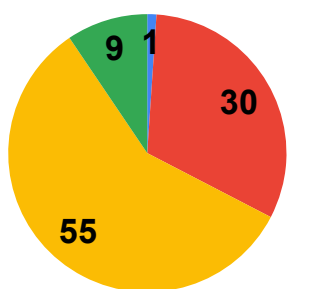
病院、一般企業、民間企業、企画職、人材業界、商社、ITエンジニア、メーカー技術職、金融専門職、物流、インフラの技術職、事務職、公認会計士、水産系の公務員、迷っている、研究自体じゃなくても良いが具体性はない、研究開発にあまり興味がなくなってきた 等

[6] どのような分野の企業に就職したいですか？



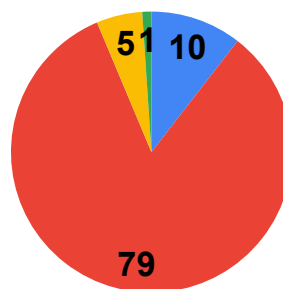
[7] 企業における研究開発についてあなたはどの程度知っていますか？

<受講前>



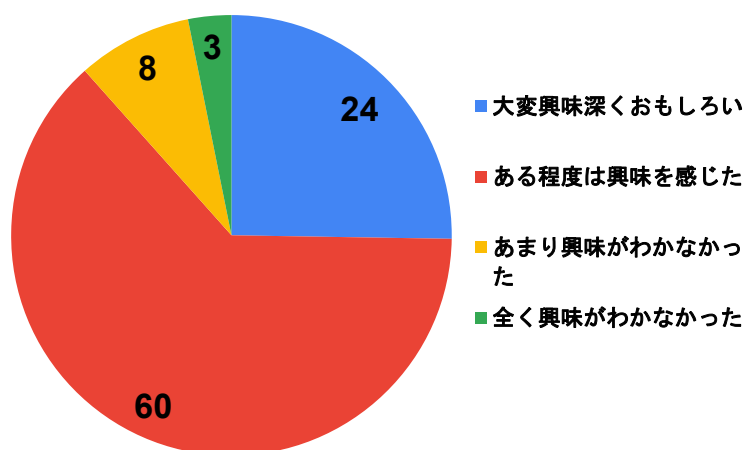
■ 具体的によく理解している
■ ある程度理解している
■ あまりよく理解していない
■ 全く理解していない

<受講後>



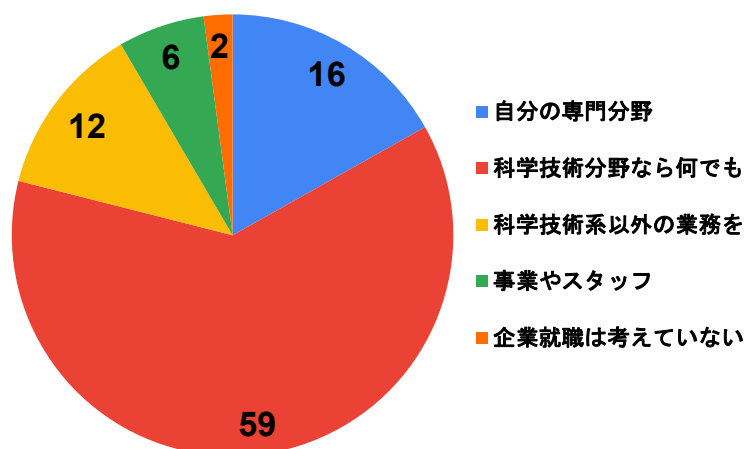
■ 具体的によく理解している
■ ある程度理解している
■ あまりよく理解していない
■ 全く理解していない

[8] 企業での研究開発業務について、ある程度以上理解したあなたは、そこに魅力を感じましたか？



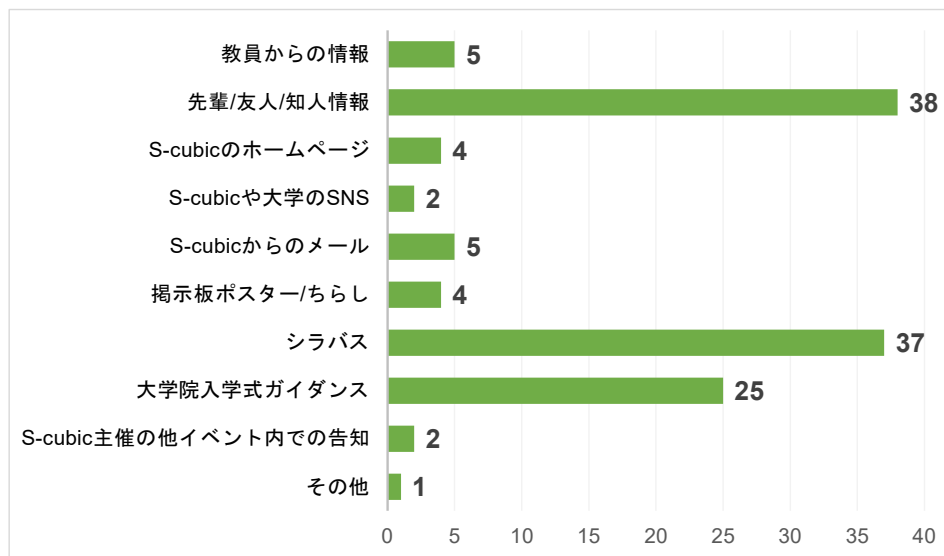
■ 大変興味深くおもしろい
■ ある程度は興味を感じた
■ あまり興味がわかなかった
■ 全く興味がわかなかった

[9] 科学技術系のあなたが企業に就職した場合、どのような業務を担当したいですか？



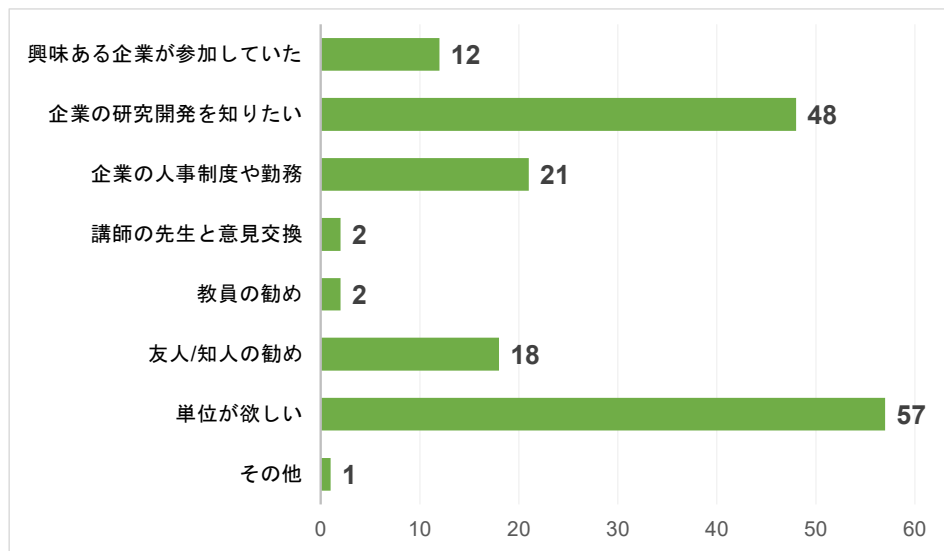
■ 自分の専門分野
■ 科学技術分野なら何でも
■ 科学技術系以外の業務を
■ 事業やスタッフ
■ 企業就職は考えていない

[10] A-COSA開催はどのようにして知りましたか？（複数回答可）



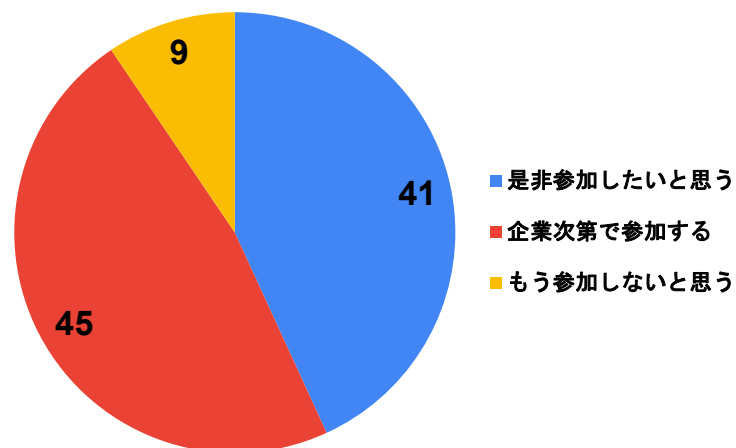
その他: 大学院共通科目のサイト

[11] A-COSAに参加の理由を教えてください。（複数回答可）

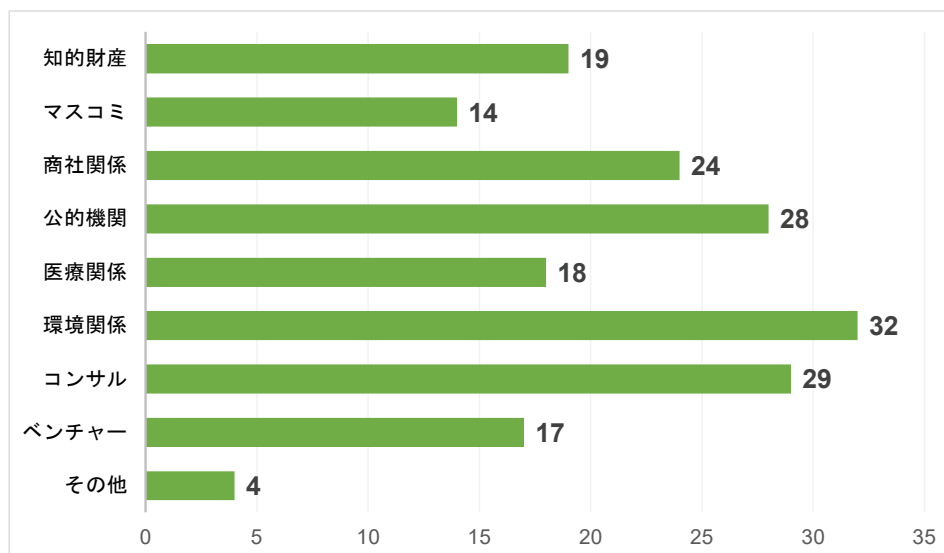


その他: より様々な人のキャリアについて知りたいと思ったため

[12] A-COSAにまた参加したいですか？



[13] 研究以外の業界／業務では、どのような分野の講師のお話を聞きたいですか？（複数回答可）



その他:メーカー、IT、農業、漁業などのサービス業以外の分野、なし

[14] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。

1	博士課程への進学を強く勧められていることが印象に残った。また、各講師の方の進路の決め方や決め手についてのお話や、就職に必要なこと、キャリア形成のための心構えなどは参考になった。
2	チャレンジの大切さ
3	5人の方々のキャリアの歩み
4	博士出身でも研究者にならなかったこと
5	キャリアアップのための心構えが参考になった。
6	貴重な話を聞いた
7	キャリアについての考え方やキャリアの積み方のイメージが鮮明になった。
8	自分のキャリアに関する考え方
9	博士人材のしんろがどうなっているか
10	講師の方みなさん、思い描いた通りのキャリアは描いておらず、状況に応じて変化していくのだと感じました。
11	就活を終えた身であるが、より早く学んでおけばよかったと思った
12	様々なキャリアや働き方、考え方を知ることができたこと。
13	仮設思考力が大事
14	情報を他社に伝える際に考えていること
15	比較的年代の近い先輩の話を聞いたことはとても面白かった。外国人留学生が日本で就職することの大変さを感じた。
16	キャリアへの考え方
17	研究職に就いた後のキャリアパスについてとても勉強になり、マネージャーや企画など様々な業務があるのだと思った。
18	異動の頻度にリアリティがあると思った。
19	基本的に研究と同じ分野の会社に就職している人が多かった
20	企業での研究と、大学での研究の違いがよくわかった。
21	博士の方がどういう理由で進学したのかを知ることが出来たのが参考になりました。
22	研究活動を伴う企業では密接に大学と関連することはなんとなく知っていたが、具体的な内容を初めて知って関心が湧いた。

[14] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。

23	ドクター卒でも自分の専門分野とは異なる業務に取り組む場合が往々にしてあることに驚いた。
24	キャリア形成の多様性を学べました。
25	10年キャリアを積んだ人と、2、3年ほどのキャリアのひとでは考え方に違いを感じるがあった。特に今研究分野に携わっていない人の話はとても興味深く聞くことができました
26	講師の先生方のキャリアパスについて
27	博士課程に行っても、分野に限られるかもしれないが、就職できると安心できた。
28	就活は一貫性が大切
29	博士進学の進路について
30	アカデミアや企業の研究についてその内容が参考になった。
31	企業での効率化と経費の削減が必要な話が印象に残った。
32	自分のキャリアの見つけ方も、人によって能動的であったり受動的であったりするなど、様々な方法があると気づきました。
33	就活の大枠を理解した
34	研究を武器として社会に出た先輩方が具体的に現在どのような活動をしているのか知ることができたこと。
35	講師先生たちのタイプや特徴は様々で、おもしろいです
36	思ったよりキャリア形成に紆余曲折がある方が多かったなと感じました。
37	キャリアは本来の予想通りに行くとは限らず、環境の変化によっていくらでも変わりうることを改めて実感した。
38	企業での研究について詳細を知る機会はなかったので、良い機会になった
39	M2の秋に学振取れるかどうかで進路を決められる
40	中岡氏がおっしゃった、CanやWillに対する考え方が私の研究に対する意識と近く、研究に対する向き合い方を再考するきっかけになった。
41	ドクター以降のキャリアの例を具体的に多く知れたのは、非常に勉強になった。
42	特に研究分野でのキャリアの例をいくつも学べて有意義だったと感じました。
43	社会人のリアルを感じた。
44	企業での研究では、利益追求が常に念頭にあること。
45	博士卒だと、企業との受動的な出会い方をしている方も珍しくないということ。
46	研究開発について理解が深まりました
47	企業に研究分野で入っても全員がそれからずっと研究専門で働いていくわけではないということ。
48	仕事とは呼ばれるものという考え方。自分自身に全くない捉え方だったため。
49	フェレイラダローサさんのお話に強く印象に残りました。私も外国人であるため、色々参加になりました。
50	キャリアに対する考え方
51	本大学OB・OGのお話であったため、自分の進路と重ねることができた。
52	実際の業務内容を聞いたのは、研究職などに対する具体的な理解に大いに役立った。企業とアカデミアどちらが辛いかわきたいな話も、個々人の価値観を踏まえた上で環境がどのように異なるかを想像できて印象に残った。
53	現代のテクノロジーで、必要とされる分野に通ずる研究を行った人のキャリアばかりで、生物と環境に関する研究を行なっている自分にとっては参考にならなかった。
54	私は今年から北大に入り札幌キャンパスで過ごしていないため、札幌の生徒の質問を聞くことができ新しい知見を貰いました。
55	とりあえず行動に起こすことが大事であるということ

[14] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。

56	企業での働き方への理解が深まりました。
57	各講師の様々なキャリアの歩み方を知れたこと。
58	企業でも面白い研究ができそう。
59	積極的に行動すること、与えられた環境で、全力を尽くすことが大切だということが印象に残りました。
60	先輩が入社に至るまでの経緯や判断が参考になった
61	どの研究もそれぞれ苦悩があると思いますが、とくに海外から日本に来て日本語で研究し、仕事をするのは大変さが何重にもあるということを再認識しました。留学生の方は本当にすごいし、海外で研究職に就くことは素晴らしいことだと思いました。
62	研究が好きで企業研究を目指した、という講演者が多かった印象だった。一方自分はとりあえずなんとなくという理由で修士に進学しており、大学院に行ったからには研究職しかないと思っていたが、話を聞いていると自分は意外と企業研究にあまり興味がなかったな、研究そんなに好きじゃないのかも気づいた。
63	企業の研究開発とはどういうものなのかについてよく理解できました。
64	企業と大学の研究の異なること
65	現在は、研究職採用でも1つの部署に留まらず、様々な配属先で経験を積むという点が印象的でした。
66	今後も研究を続けたいと考えた時に、企業に入って研究するか、大学に残って研究するかという選択肢があると思う。企業に入った場合、今回の講師の方で研究をずっと続けられたという方は少なく、マネジメント側に回ることが多いという印象を受けた。所属研究室の教授も自分自身の研究というよりも学生の研究や雑務の割合が多くなっており、結局企業に入ってもアカデミアに残っても最後まで自分がしたい研究を続けるのは難しいのではないかと感じた。
67	新規性を企業側が求めている点は価値観として参考になりました。本題以外では、下町の役割が部分的に大学に来ている波を感じました。
68	内容が博士人材の企業キャリアということで、自分が修士1年なこともあり博士進学だったり、企業研究職の立ち位置について考えるきっかけになりました。とても勉強になりました。
69	研究分野とその後の進路について知ることができてよかった
70	人事異動がかなり多いこと
71	マネージャーを実際にやられている方から考え方などを聞いた点
72	講師の皆さんが質問に対して、とても親身に回答されていたところが印象に残りました。
73	キャリアが外的要因で大きく変わることを初めて知った
74	企業での研究がどのようなものか知れ、自身のキャリアを考える参考になりました。
75	人によってキャリアは異なることがわかった
76	研究開発についての説明
77	キャリアは多様であり一般化できるものではないということ。
78	スペシャリストからジェネラリストへキャリアを歩まれている博士卒の皆様のキャリアのお話をお聞きし、様々なキャリアを経験することで、今までの学歴の中で培ってきた知識だけでなく能力を、いろいろな角度、形で生かし、社会に貢献していることが分かりました。専門を熟成させるスペシャリストよりもアンラーニングが必要であるジェネラリストのほうが難しく、博士人材の能力が生きていることが印象に残りました。
79	研究一本のキャリアになることは稀
80	仕事はCallingという考え方は、すべて受動的に生きてきたことに後ろめたさを感じているわたしにとって良い考え方でした。
81	目の前のことに全力で取り組むことの重要性
82	水産科学院は閉じた環境だったので、他学院の卒業者と在学生の心境を聞いたこと。悩んだり、迷走したりするのは誰もが同じ中で精いっぱい行動していることが分かったのが自分の支えになったので非常によかった。
83	企業での研究のイメージがまったくなかったの、話を聞いて少しだけイメージできるようになった。

[14] 講演内容について参考になった点や、印象に残った事などをご記入ください。

84	知らない企業について知れた
85	最初研究職として入社の場合であっても、他部門への異動はほとんどのことが一番印象に残りました。また、中岡さんからいただいた楽観的な考え方は長期的に仕事を続けられることに繋がるとのアドバイスが参考になりました。
86	企業の勤務実態や実際にその場所で勤務している方がどんな経歴を歩んできたのか、いつそこに行こうかと決めたのかという点がとても参考になりましたし、印象にも残りました。
87	キャリアには正解はなく、自分の意思を持ち続けることが大事だと思えたこと
88	アカデミア以外の道についてあまり知らないから参考になった。

[15] Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

1	不安感が強まった。私はこんなスキルも考え方もない、かといって修士の2年間では身につけられない…と感じた。もっといろいろな分野の講師の方の話を聞いてみたいと感じた。
2	休憩、長さちょうどよかった
3	資料を残して欲しい
4	とても有意義でした。
5	あっという間だった
6	質問対応の時間が長く、多くの人の質問を通じて更なる理解に繋がった。
7	企業の方が具体的にどのように自分のキャリアの選択をしたのか聞くことが出来てとても参考になりました。
8	少し企業紹介が長い
9	企業で働く方の生の声を聞くことができて、参考になりました。
10	とても有意義な時間であった
11	二日間で5人の方のキャリアを聞く機会は貴重であるため、とても実りある時間だった。
12	単位を目当てに履修したが、想像していたより面白い話が聞けてよかった
13	災害対応が迅速だった
14	時々音声がか切れているときがあった気がします。
15	ありがとうございました。
16	企業自体の理解だけでなく、自分のキャリアパスを考えるうえで多くのことを学べた。
17	全体的な量感が丁度良いと思った。
18	専門分野の説明が理解できない点が多かったのでキャリアにももう少し焦点を当てて欲しかった
19	スケジュールの都合があるとは思いますが、時間が長く、集中力を保つのが難しかった。
20	博士進学に関する印象が少し変わりました。
21	興味深い説明が多かったが、やや冗長にも感じられた
22	貴重な機会を頂きとても参考になりました。
23	函館なので叶いませんが、ぜひ対面で受講してみたいと感じました。
24	5人の社会人の話をきけて、色々考えることがあったので、これから就職活動をする中で、今回の話を参考にキャリアについて考えたい。
25	もともと研究開発職にこだわりはなかったが、研究開発以外の職になった方の話が多く聞けて、とても興味深かった。
26	休憩等、適切な時間であり、負担が少なかった
27	もう少し時間を短くしてほしいです。
28	大変貴重な機会ありがとうございました！

[15] Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

29	さまざまな分野の方からお話を聞けて良い経験になった
30	キャリアについて考えるきっかけを得ることが出来つつ、普段見ない企業の方のお話も聞けるので、効率がいいと思いました。
31	化学系の大手の企業の方が参加していてとてもためになった
32	休憩が多く集中しやすかった。
33	もし半日ずつだったら嬉しいです。丸一日はお尻が痛いです
34	貴重なお話が聞けて良かったです。ありがとうございました。
35	就職活動が始まったこの時期において様々なキャリアを歩む先輩方のお話を聞くことができて興味深かった。
36	オンライン参加で、スライドと発表者の2画面から変更できないのが不便だったので、変更できるとうれしい
37	オンラインで受講していたが、ところどころマイクと口が離れて音声が届かないところがあった。
38	元々札幌を離れていて、この授業のために飛行機で移動してきました。水産の方はオンラインと伺っているので、A-COSAでも、許可付きで構わないのでオンライン受講できるようにしていただけるとありがたいです。
39	ドクターに進む人にとっては、キャリアを知って安心することができたりと、特に有益なセミナーだと思うので、これからも続いてほしい。
40	非常にためになる講義でした。
41	興味深かった。
42	災害で受けられなかった者への配慮があり安心しました。
43	ありがとうございました
44	特になかったです。非常にためになりました。
45	理工系企業以外の講師の話も聞いてみたいと思った。
46	とても勉強になりました。ありがとうございます。
47	質問時間も十分に取られており、講師の方の内容も身近であり参考になるものばかりで有意義であった。
48	公的機関の話も聞いてみたい。
49	博士への道を考えていないので、特にない
50	人生経験をシェアしていただきました。
51	函館キャンパスの学生でも対面で聞けるようにしてほしい
52	為になる情報が多く聞けて良かったです。ありがとうございました。
53	自分自身のやりたいこと、社会で成し遂げたいことを見つめ直す良い機会になりました。
54	企業での研究についての理解が深まりました。ありがとうございました。
55	参考になりました。
56	資料のダウンロード可能期間を明示してほしい
57	2日目しかリアルタイムで見られませんでした。どの講師の方も本当にお話しが上手くて、専門性の高い内容でもイメージしやすく聞くことができました。
58	自分がいまできることを全力でやろうと思った。
59	とても貴重な時間になりました。
60	博士課程を出た人は身近にいないため、どのようなキャリアを歩んできたのか具体的に話を聞くことができて面白かったです。
61	質問の時間が長かったのが見ていて面白かった。中々難しい質問も多かったが、講師の方々が上手く答えていて流石だなと感じた。

[15] Advanced COSA(1)についてのご感想・ご要望などをご記入ください。

62	大学の研究とは何かは事前講義で話してほしいと感じました。前提として必要な割に各自の不確実性が大きいのですが、企業の研究を考える課題で文字数を割くべき内容ではないため書くわけにもいかず、議論を形成する上で不便だと感じました。
63	登壇された方には「物事を徹底的にやる力」が共通して備わっていて、かっこいいなと感じました。私も、大学院に進学したからこそ、一人前と自信が持てる程度には研究テーマを突き詰めたいなと、研究に対するモチベーションにも繋がりました。
64	今日の前にあることに全力で取り組むことが大事だと感じた。勉強も研究も頑張ります。
65	非常に勉強になりました。ありがとうございます。
66	質問の時間が長かったのが特に満足度が高かったのですが、要望が1つあるとすれば、今回の講師方のご専門が材料・実験系寄りだったので、数理・情報系の研究者の方のお話も聞きたかったです。
67	博士卒後の具体的なキャリアについてエピソードを踏まえてお話しいただき、非常に貴重な機会だった。
68	今後のキャリアについて考えるいい機会になりました。
69	非常に面白かったです
70	ほかの企業もよんでほしい、水産生でも対面でやってほしい
71	正直なことを言うとはじめに話された伊勢田さん以外は講演者と学生があまりにも噛み合っていないと多くの点で感じた。専門的なスキルを活かしていたフェレイラダローサさん以外の4人は会社に依存したキャリアであり、その経験を含めて自身のキャリアについて語った伊勢田さんを除くとキャリア形成の観点から学ぶことといえば「意思よりもその場において頑張る」と言ったメッセージを掴むのが精一杯であると感じた。このため、意思決定を自身で行う気持ちを育むことを目的とした大学院生向けのキャリアセミナーとしてあるべきスタイルなのか少し疑問に感じた。 また、講演者が自身の気持ちをぶっちゃけて話すことが少なかったため、学生側と距離があったと感じた(恋愛のことを聞いた他の学生はすごいと思った)。これでは企業説明会、座談会およびリクルーター面談とあまりにも変わらないと思った。自身について目指したいことを考える機会になると言うより、社会にどうみられているかをより意識し助長する内容な気がした。 学生側もさぐりさぐりで質問するしかないため、講演者側が「答えになっていますかね」と言うような返答を何回もしているのはお互い勿体無いのではないかと強く感じた。 例えば、どのような選択肢(民間就職志望で初めからアカデミアに残る気はなかったなど)がある中でどのような選択をしたか(気持ちとしては就活を早く終わらせたかったなど)、どうしてその選択をしなかったかなどを細かく説明してもらえるととても意味があると思った。
72	自分のキャリアのビジョンが持てず、このセミナーに参加したのですが、講師の方のお話の中で、「おかれた場所で咲く」ような、行った場所で一生懸命に取り組むことで、新しい価値観、考え方、能力を身に付けることができ、やりたいことに対しても視野が広がるというお話があり、軸を大まかに決めて柔軟に考えていこうと思いました。
73	キャリア形成にあたって、女性の場合は結婚出産も気になるところです。講師本人にそれを聞かれることをあらかじめ伝えていただければ、当日気兼ねなく聴けるのではないかと思います。
74	非常に充実した時間でした。改善点等はありません
75	札幌キャンパスの大学院を目指すべきだったのかなと思ってしまう。オンラインでは疎外感を感じる、とはいえ対面のみでは講義を受けることすら考えなかっただろうと思うとオンラインでも大変ありがたいなと思う。
76	質疑応答で質問するのが、すこし緊張しました。
77	開催が2日より多くてもよかった
78	充実な二日間でした。企業での研究とアカデミアでの研究を行う目的や働き方などの違いについて十分理解できました。非常に参考になりました。
79	個人的な意見になってしまうのですが、講演を聴いた後に質問タイムがありましたが、それに加えてこのセミナー終了後にも質問を受け付ける時間を設けて欲しいです。(キャリアマネジメントセミナーの毎回の課題に出てくる質問欄のようなものを一定の期間を設定して、アクセスできるようにして欲しいです！)
80	研究開発の詳しい話を聞くことができ、今後の自分のキャリア選択についてとても有益な情報を聞けて良かったです
81	とても参考になるお話が多く、またこうした機会に参加したいと思いました。
82	自身の視野を広げられたのでよかった。また、本当に個人個人のキャリアが異なるので、自分自身でちゃんと考えることが大事だと改めて感じた。